

5 活動概要報告

中野 力

1971年夏、私たち関西大学探検部技術研究会はOBを含む五名でアラスカのアラスカ山脈南東部端、ヘイズ山群に遠征した。このヘイズ峰南面一帯は今日まで前人未踏の処女地であった。

私達はこの地に約一ヶ月半登山活動を行ない、小さな無名峰に登頂することができた。

アンカレッジとの往復は全員飛行機を利用し、荷物も隊員と同時に運ぶスカイフレイトにすることにより、荷物引受のための港湾スト等のトラブルを避けることができた。また、日本から持出した荷物も極力制限したが、不足分はアンカレッジで容易に調達することができた。

アンカレッジでは領事館、アラスカ山岳会、メソジスト大学等の渉外活動と装備・食糧等の調達を五日間で済ませ、6月15日山に向った。旅の序幕は氷河をいだく山岳地帯へのハイウェイバスで始まる。マタヌスカ溪谷に行くバス週一便なのに客はわれわれの他に二人だけ、気のいい運転手氏はガイドに忙しい。南側の車窓にチュガム山脈が、続いてランゲル山脈がその雄姿を展開する。百キロを越えるスピードで突走ってもスケールが大きいのか、景色は容易に変化しない。無数の湖をちりばめたタイガ地帯が現われ、野性動物の原生林を突切ってバクソンロッジに着く。

ここからの入山は徒歩では不可能で、ブッシュパイロットが操縦する小型飛行機を利用しなければならない。

6月16日、バクソンから目的の氷河へセスナ機で飛ぶ。5人の隊員と500キロの荷物を二便に分ける。第一便に3名が若干の荷物を携え乗り、予定のトライデント氷河をまず偵察する。しかし、クレバスが発達していて着陸できず、西側のスーシトナ氷河に降りることになる。機は着陸体制にはいってまもなく風を受け着陸に失敗、転覆した。幸にも松本隊員とパイロットがともに顔に軽傷を負っただけで済み、パイロットは翌日早朝、救出に出勤した空軍のジェットヘリコプターで救出された。

この事故でパイロットはここに第二便を着陸させることを拒み、第一便の三名は食糧、ガソリン等の不足のまま22日荷物の投下まで耐乏生活を強いられ、第二便は22日よりやく、約15キロ下流の氷河に着陸した。2日後の24日にやつとスーシトナ氷河源頭に全員が集結しベース・キャンプを設営する。この事故で予定の40日のうち、ベースキャンプの設営に8日、移動に2日、撤収に6日間、計16日減つたため登山計画を練り直す。

6月26日、ヘイズ峰の南東につづく、白い大きな無名峰（マウント・センリ仮称）の登頂活動を開始する。

スーシトナ氷河の支流を溯り、トライデント氷河とのコルに6月27日、10日分の食糧を揚げ前進キャンプを設営する。この日、雷を伴つた大粒のアラレの洗礼を受ける。

悪天に悩み、5日間の苦闘の末、雪と氷の稜線を辿りマウント・センリ直下のコルにアタックキャンプを設営する。再び天気は悪化したが、回復の兆のみえた7月5日全員でマウント・センリの前衛峰（エルフアント・ピーク）に登る。

前進キャンプに一度、アタックキャンプへ二度食糧のサポートを行ない、7月6日やつとアタック日和が訪れた。宮本、苗村両隊員は4時半起床、6時の交信後センリ峰をめざし出発した。快晴無風、前進キャンプでは742mbの気圧、マイナス4度と好条件。1時間毎の交信でアタックの様子が伝わってくる。クレバス、氷塔を越え、足下千メートルも切れ落ちたヒマラヤヒダがギラギラ輝くナイフのような雪稜を辿ること6時間、12時55分ついにII峰の頂に立つ。ついで2時25分盟主マウント・センリI峰（3767m）の登頂に成功する。下降時にIII峰へも登り、12時間半に及ぶ行動の末、無事アタック・キャンプに戻る。

翌7日、前進キャンプで待機中の安沢、松本両隊員はアタックキャンプ撤収後、こんどは北へ続く雪稜を辿り、トライデント・ピーク（仮称）の初登に成功する。

Mt センリ 概念図

I (12360 ft)

II (12261 ft) E4 +

III

Trident Gl.

AC

8日、一気にベースキャンプに帰着し、10日BCをヘイズ峰南稜直下すに移す。ヘイズ南稜攻撃体制を整えるが断念し、7月26日、ピックアップ点に全員集結する。この間、11日から26日迄、晴天は1日もなかった。

7月29日、夕食後、パイパー機が飛来、ハイウェイのブラック・ラビッツに三便に分れ出た。

6. 日程概要

1971年6月9日 全員伊丹発

6月10日 全員羽田発

9日 アンカレッジ着

10日 日本領事館

メソジスト大学

MCA会長ハケット氏、同会員ルイス氏

11日 プッシュパイロット

食糧品店調査

12日 オート、キャンプ場へ移る。

ガソリン購入

13日 食糧購入

14日 食糧購入

15日 アンカレッジ発

パクソン着

16日 第1便、パクソンからBCへ

22日 第2便、下流L.Aに着陸

食糧、メッセージ投下

23日 下流L.AとB.Cとの中間点で全員合流

24日 B.C建設

25日 物資の整理